

学科 学年	2年全	科目 分類	国語 Japanese	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 1-A~ E	担当	大石加奈子 OISHI kanako
概要	21世紀の複雑化するコミュニケーション社会に対応していくため言語能力の基礎を養成する。情報化社会に生きる現代人として必要な論理思考力や表現力を無理なく高めていく。							
科目目標 (到達目標)	学習・教育目標 教養科目の目標は、学生に以下の知識・能力を習得させることにある。(A) 広い視野から社会を理解する能力 (B) 工業技術を学ぶうえで基礎となる知識・能力 (C) 国際的に通用するコミュニケーション能力の基礎及び異文化を理解する姿勢 (D) 積極的に新しい知見を求め、様々な手段を通して必要な知識を収集する能力 (E) 社会で活躍できる心身の健康を増進していく力及び豊か							
教科書 器材等	教材：プリント配布 機材：ヴィジュアルプレゼンター パソコン プロジェクター							
評価の基準と 方法	適宜、作文を課す。定期試験を行う。定期試験の平均成績を80%、授業への積極姿勢を20%として評価する。							
関連科目	文学特論							
授業計画								
第1回	国語を学ぶ意義と学習の仕方について							
第2回	現代文の基礎を学ぶ 1 語句の理解							
第3回	2 段落の区分							
第4回	3 論の展開の把握							
第5回	4 要旨の把握							
第6回	5 文章の要約							
第7回	ディベートとパネルディスカッション							
第8回	定期試験							
第9回	会議を成功させる5つの原則を学ぶ							
第10回								
第11回	論理的な文章を書く							
第12回	"							
第13回	"							
第14回	"							
第15回	定期試験							
第16回	PBL方式による演習の開始 研究テーマの決定							
第17回	結論の出る会議の仕方 ファシリテーターの役割							
第18回	図書館・情報処理教育センターでの資料の収集							
第19回	グループマインドマッピングによる視覚化された会議の方法							
第20回	新しいアイデアを出す3つの方法							
第21回	プレゼンテーションのシナリオをロジカルに組み立てる							
第22回	問題解決型シナリオを使う							
第23回	定期試験							
第24回	説得力のある伝達方法について							
第25回	画面のラフスケッチと画面作成							
第26回	画面作成 プレゼンテーションのリハーサル							
第27回	パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う 1回目							
第28回	パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う 2回目							
第29回	研究報告書作成 パネルディスカッション							
第30回	定期試験							
授業アンケート への対応	社会ですぐに役立つ授業内容の充実							
オフィス アワー	平日の放課後							
備考								